

令和3年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和5年1月6日
地方競馬全国協会
畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会」(委員名簿は下表参照。)を設置し、意見を聴取しています。

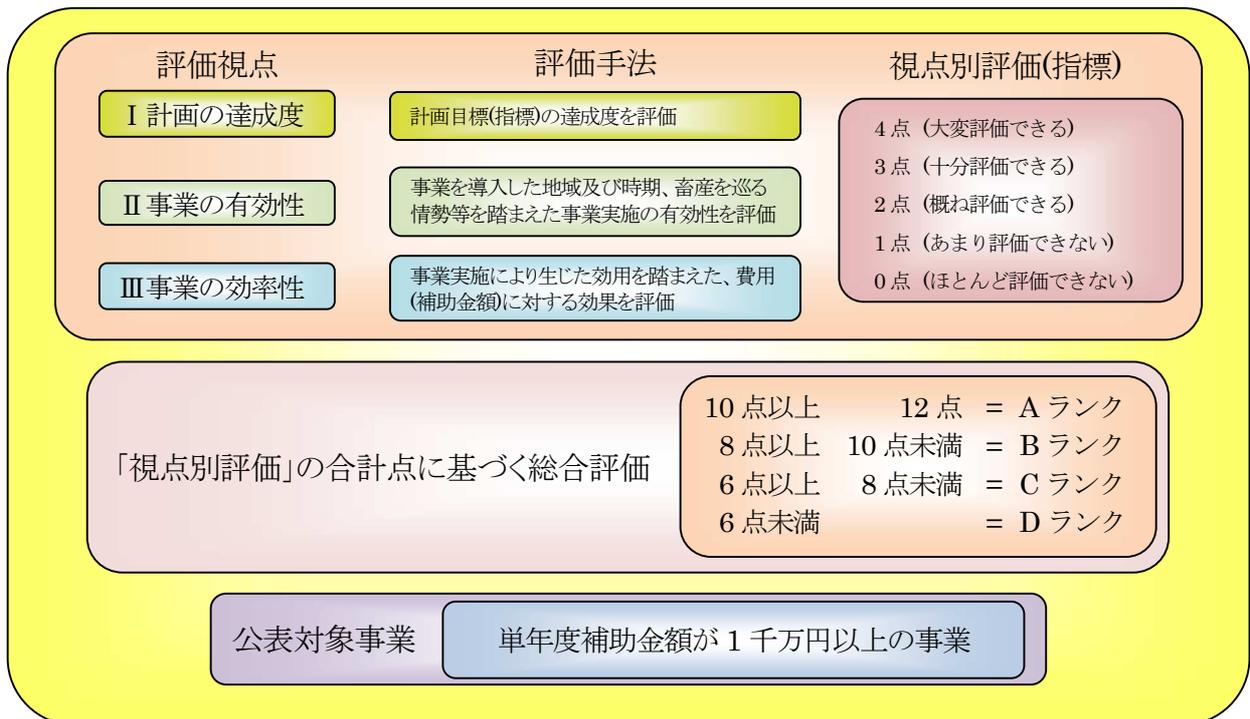
また、NAR は、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和4年度は、令和3年度に実施された補助事業(畜産振興事業:89 団体、事業件数 127 件、補助金額 1,408,449,000 円、競走馬生産振興事業:19 団体、事業件数 32 件、補助金額 2,295,703,458 円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略・50音順)

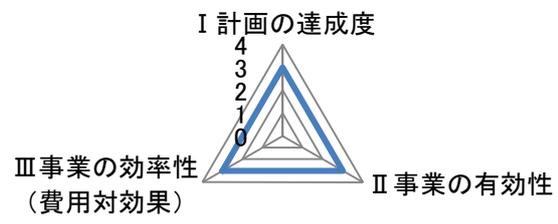
委員氏名	所 属	役 職 名	備考
伊 佐 雅 裕	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業務部長	座長
菅 野 茂	国立大学法人 東京大学	名誉教授	
高 橋 勉	一般社団法人 家畜改良事業団	専務理事	
豊 田 淳	国立大学法人 茨城大学	教授	
三 田 修 司	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部管理課長	

図. 「評価の基準」



【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (1) 登録推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		技術料、登録推進費、登録業務普及啓発費、精液調査費、事業推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種馬登録規程		事業の目的	趣旨 血統登録及び事務の円滑化 実施方法 登録審査、実務者研究会等 受益対象者 重種馬の生産者等
	事業の内容	<p>重種馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 種馬登録審査 …… 北海道、青森、岩手、島根、熊本及び宮崎の各道県における重種馬等の登録を行った。 登録システムの改修:血統管理システムの保守を行いながら、登録情報を登録名簿に登録し、馬関連団体情報システムにより協会ホームページに開示した。</p> <p>ii 登録実務者研究会 …… 種馬登録審査を厳正に実施するため、4月に独立行政法人家畜改良センター十勝牧場において登録審査委員等を対象に登録実務者研修を開催した。 また、登録審査委員を養成するため、11月に島根県隠岐において登録実務者講習会を開催した。</p> <p>iii 登録業務普及啓発 …… 登録申請等の簡便化や馬事知識の普及啓発を図るため、HPの情報の充実、馬事関係の情報を逐次更新し発信した。</p> <p>iv 馬精液調査 …… 欧州におけるコロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、海外渡航が制限されたことから、令和3年度における実態調査は取りやめ、2月に仏国から凍結精液(ブルトン種:400本)を試験輸入した。 なお、試験輸入した凍結精液については、独立行政法人家畜改良センター十勝牧場に依頼して精液性状調査及び受胎試験を行った。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		55,448	64,166	72,410	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (2)重種種馬の導入		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		国内産種雄馬導入費における種雄馬購入費及びその他の経費 国内産種雌馬導入費、外国産種雌馬導入費、優良種雄馬適正配置費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種雄馬管理規程		趣旨	優良な重種種馬の購入、適正配置
	事業の内容	事業の目的	実施方法	受益対象者	種雄馬購入・借受及び種雌馬購入 生産地への配置、管理指導 種雄馬名簿の作成等 重種馬の生産者等
		<p>ばんえい競馬の重賞勝ち馬等牽引能力の高い及び基幹的品種の重種種馬の導入による資質向上と、種雄馬の飼養管理技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 国内産種雄馬購入・・・ 公益社団法人日本馬事協会が定める重種種雄馬(ばんえい馬)選定基準により選定された種馬を購入した。 令和3年度は国内産馬として4頭を導入した。(うち1頭は凍結精液を製造・配布するために購買、精液製造のための施設に預託した。)</p> <p>ii 外国産・国内産種雌馬購入・・・ 重種馬の改良増殖を推進するため、基幹的品種の外国産種雌馬や国内産種雌馬を購入し、家畜改良センター十勝牧場及び農協連等に配置した。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外国産種雌馬の購買を取り止めた。 なお、内国産種雌馬11頭を購入した。</p> <p>iii 優良種雄馬適正配置・・・ (独)家畜改良センター十勝牧場から借り受けた種雄馬(純粋種)5頭を主要産地へ貸付けた。</p> <p>iv 種馬管理指導・・・ 公益社団法人 日本馬事協会及び支部が主体となって行う、北海道、青森県、岩手県、島根県、熊本県、宮崎県に配置中の種雄馬、種雌馬についての管理状況の把握と、飼養管理者に対する管理技術の向上についての指導を行った。</p> <p>v 種雄馬名簿の発行・・・ 令和3年度に種畜検査を受検し、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿を刊行し関係者へ配布した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		57,165	63,534	103,002	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

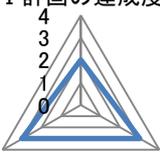
【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (3) 重種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	南幌農業協同組合他25団体	
補助金等の名称	純粋種雌馬繁殖奨励費、重種雌馬繁殖奨励費、ばんえい競馬出走馬繁殖奨励費 純粋種雌馬導入費、重種雌馬導入費、ばんえい競馬出走馬導入費 推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種雌馬の繁殖奨励金交付規程 重種雌馬の貸付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の改良及び生産振興
				実施方法	奨励金交付、導入費補助
				受益対象者	重種馬の生産者等
事業の内容	<p>重種馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 純粋種雌馬繁殖奨励 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の重種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき310千円以内)</p> <p>ii 重種雌馬繁殖奨励 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の重種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき290千円以内)</p> <p>iii ばんえい競馬出走馬繁殖奨励 …… 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき360千円以内)</p> <p>iv 純粋種雌馬導入費 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種の重種雌馬を外部から導入し、飼養者へ3年以上の貸付(導入馬1頭につき310千円以内)</p> <p>iv 重種雌馬導入費 …… 公益社団法人日本馬事協会が繁殖登録を受けた純粋種以外の重種雌馬を外部から導入し、飼養者へ3年以上の貸付(導入馬1頭につき290千円以内)</p> <p>vi ばんえい競馬出走馬導入費 …… 地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入し、飼養者へ3年以上の貸付(導入馬1頭につき360千円以内)</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	31,016	36,068	59,663		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

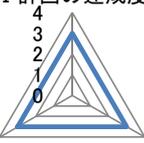
【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 重種馬の繁殖奨励	事業実施主体名	上川生産農業協同組合連合会 他13団体	
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、 優良種雌馬保留奨励費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬保留奨励金交付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良
				実施方法	奨励金交付
				受益対象者	重種馬の生産者等
事業の内容	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。				
	<p>①優良種雄馬繁殖奨励 種付奨励 …… 当該年に種付した種雄馬の飼養者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種種雄馬1頭につき…100千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき…70千円以内</p> <p>②子馬生産奨励 生産奨励 …… 当該年度で、(公社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた重種馬の生産者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種 …… 子馬1頭につき54千円以内 ○純粋種以外… 子馬1頭につき53千円以内</p> <p>③改良促進奨励</p> <p>i 優良種雄馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき53千円以内)</p> <p>ii 優良種雌馬改良促進奨励 …… 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき173千円以内)</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	109,907	129,105	151,458		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果) II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		

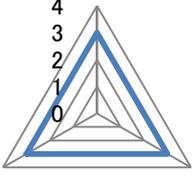
【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 馬事普及啓発推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		馬事普及特別対策事業費、馬事思想普及教材の配布事業費、馬事関係資料収集事業費、優良重種馬学術調査事業費、優良重種馬生産者表彰事業費、重種馬等生産振興推進事業費、共通事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	馬事知識の普及、生産技術等の継承、重種馬の資源確保
		[事業実施主体] ・馬事普及特別対策事業実施要領 ・優良重種馬表彰実施要領		実施方法	馬事普及事業への経費助成、馬事普及資料作成、学術調査及び会議の実施、生産者賞の交付
	事業の内容	<p>重種馬の改良増殖、生産技術の向上、一般向けの馬事思想普及啓発、生産者の生産意欲の向上及び生産振興策検討のため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬事普及特別対策事業・・・ 地方競馬場及び畜産関係団体等が実施したイベント、生産集団等が実施した生産技術調査・研修及び生産技術調査・研究開発に対する経費を助成した。 ※令和3年度は生産集団等が実施する共進会への助成は実績なし。</p> <p>ii 馬事思想普及教材配布事業・・・ 一般向け普及啓発用教材「馬のいろいろーパート4(馬と祭り編)」を3000部作成し、既に作成した「パート1(馬のからだ)」及び「パート2(馬のからだをもっと知ろう!)」「パート3(馬の道具)」とともに9,940部を配布した。</p> <p>iii 馬事関係資料収集事業・・・ 馬事の普及・啓発を図る一環として、生産者や馬事愛好家を対象とした研修会及びセミナー等に活用する資料として、馬事普及用テキスト(馬の見方)を作成した。</p> <p>iv 優良重種馬学術調査事業・・・ ①運動能力力学調査研究(山口大学との共同研究) ばんえい競走馬のモーメントバランスを解析し、効率的な計画交配に資するため、ばんえい競馬運動力学調査研究を実施した。 ②BLUP法馬能力検定調査研究(京都大学との共同研究) ばんえい競走馬(2歳馬)及び家畜改良センター十勝牧場の繋養馬の体型測尺(10部位)及び線形審査を実施し、また、ばんえい競走成績及び産肉成績のデータ提供を受け、BLUP法アニマルモデルを用いた評価を検証した。 ③整形外科疾患調査研究(帯広畜産大学との共同研究) 整形外科の高度化対応のため、関節鏡用カメラシステムを構築した。</p> <p>v 優良重種馬生産者表彰事業・・・ 馬の生産の指標となる3歳馬の基幹2競走(黒ユリ賞、イレネー記念)の出走馬の生産者(のべ20名)及び優良重種馬(多産馬:3頭)の飼養者に対する表彰及び褒章金の交付 ※表彰式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため取りやめ、表彰状の授与等について郵送等で対応した。</p> <p>vi 重種馬等生産振興推進事業・・・ 全国の重種馬生産地の農業団体及び生産者等を集め、重種馬に関する生産振興等について意見交換を行うため、3月8日に重種馬生産振興中央推進会議を実施した。 また、地域の実態に即した生産振興策を検討するためのブロック会議(北海道、東北、西日本)を開催した。 ※いずれの会議も令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBで実施</p>			
	補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		29,127	32,444	61,247	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				II 事業の有効性	
				III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 優良重種馬生産奨励		事業実施主体名	帯広市	
補助金等の名称		ばんえい競馬生産奨励費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ・帯広市優良軌系馬生産奨励金交付要領		趣旨	重種馬(ばんえい競走馬)の資源確保	
				実施方法	生産奨励金の交付	
				受益対象者	重種馬の生産者等	
事業の内容		<p>重種馬生産者の生産意欲を高めることにより、重種馬の生産頭数の現状傾向を抑制し、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>生産奨励費 …… 当該年度ばんえい競馬の競走馬として新規登録し、かつ競走に出走した馬の生産者に対する生産者賞の交付(1走あたり12,000円を限度とする)</p> <p>※本事業は、平成29年度まで「優良農用馬資源確保緊急特別対策」として(公社)日本馬事協会が実施していた。</p>				
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		49,760	59,892	60,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 重種種馬施設等整備		事業実施主体名	新函館農業協同組合、函館市亀田農業協同組合、本別町農業協同組合
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種種馬施設等整備事業実施要領	事業の目的	趣旨	重種種馬の生産振興、担い手確保
				実施方法	リースによる機械施設導入、及び施設等整備
				受益対象者	重種種馬の生産農家
事業の内容		重種種馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。			
事業の内容		<p>①機械施設等導入 …… 機械施設等の導入に要する経費の一部を補助 ※新函館農業協同組合、函館市亀田農業協同組合 公益社団法人日本馬事協会が地方競馬全国協会の補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者が対象 (補助率:2/3)</p> <p>②施設等整備 …… 重種種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助 ※本別町農業協同組合 重種種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象 (補助率:1/2)</p>			
補助金額 (千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	11,257	32,980	267,330	R4年度は参加実施主体が大幅増 (R3:3団体⇒R4:16団体)	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		II 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度) 畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ① 総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ② 令和3年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領 ③ 令和3年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領		趣旨	畜産経営の安定及び高度化
				実施方法	地域畜産協会への経営技術指導 総括畜産コンサルタント試験の実施 地域畜産協会業務の円滑化の推進 経営指導技術の向上 畜産関係団体の調整機能の強化等
				受益対象者	地域畜産協会 畜産農家、一般消費者等
事業の内容		<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 (道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業) ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:10名、書類審査、面接試験、受験者36名、合格者9名) (新型コロナウイルスの蔓延防止のため面接試験を受験できなかった15名に対し、令和4年4月25日に第2回面接試験を実施) ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣4回) ・新任基礎研修(研修者数48名、計1回/WEB開催) ・経営指導従事者研修(研修者延べ30名、計2回/独立行政法人家畜改良センター・WEB開催) ・総括畜産コンサルタント研修(研修者数12名、計1回/独立行政法人家畜改良センター) ・管理責任者等研修(研修者:延べ436名、計4回/都内会議室・WEB開催) ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数延べ34名、計10講座)(うち研修旅費一部補助者延べ13名) ・国内技術研修派遣(研修者延べ98名、計2回/WEB開催) ・海外畜産事情研修(研修者:延べ476名、計16回/WEB開催) ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(令和3年11月26日))</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 (畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進) ・畜産会等支援生産者組織整備事業(26団体: 道府県畜産協会等) ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道県) ・畜産経営相談窓口機能設置事業(50団体: 道府県畜産協会等) ・電算処理事業(畜産経営データベース及び畜特利子補給等電算処理関係業務の請負) ・出版事業(月刊誌「畜産コンサルタント」、特別出版物の発行及びセミナーの開催)</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	133,999	185,706	278,445		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会 他全国45団体	
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、馬事普及啓発推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	<p>道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。</p> <p>ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業を実施した。</p> <p>イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産物の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業を実施した。</p> <p>ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業を実施した。</p>			
	補助金額 (千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		429,999	514,990	700,000	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領	事業の目的	趣旨	畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大 地方競馬支援
				実施方法	冠競走への支援・畜産フェア等の実施
				受益対象者	一般消費者等
事業の内容	<p>地方競馬における畜産振興への取組をPRするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 道府県関係費(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施(137回)、畜産フェア等の開催(77回)及び競馬見学会等(9回)【馬事畜産地方協議会対応】</p> <p>ii 畜産フェア ・イベント(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物を提供) ①第33回ばんえいグランプリPR支援(帯広競馬場・8月・1,000セット・PRセット提供のみ) ②畜産フェアinばんえい十勝(帯広競馬場・3月・1,000セット) ・WEB畜産フェア(クイズ・アンケート回答者から抽選で畜産物等をプレゼント) ①ダービーシリーズキャンペーン、②ばんえい十勝キャンペーン</p> <p>iii 地方支援費(家畜に係わる伝統行事支援)平成30年度より実施 ・チャグチャグ馬コや相馬野馬追等、全国各地の家畜に係わる伝統行事(93団体)の保存活動を支援</p> <p>iv 地域畜産物の贈呈 ・ダートグレード競走等基幹競走21競走の優勝馬主等(22名) ・地方競馬シリーズ競走上位騎手(3名)</p> <p>v 地方競馬主催者等のキャンペーンへの地域畜産物贈呈</p> <p>vi 地方競馬の公益プロモーションビデオの制作及び広報活動 30秒のプロモーションビデオを作成し、競馬場やインターネット上で放映</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	49,516	102,181	148,531	R4から畜産フェア普及特別対策事業を一部移管	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (アフリカ豚熱等緊急防疫体制確立)		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称	アフリカ豚熱等緊急防疫体制確立費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 令和3年度アフリカ豚熱等緊急防疫体制確立 事業委託要綱	事業の目的	趣旨	家畜伝染病への危機意識醸成、防疫措置に必要な留意事項等の関係者への周知
	事業の内容	<p>平成30年9月、国内では26年ぶりに国内で発生した豚熱については、飼養豚へのワクチン接種下であるにも関わらず、野生イノシシでの感染率が高い地域において、飼養豚での豚熱続発が見られており、飼養衛生管理基準の遵守はもとより、野生イノシシにおける豚熱対策を緊急的に強化することが求められている。</p> <p>また、令和3年7月に神奈川県で発生した豚熱の防疫措置で移動式レンダリング装置を本格活用したが事前の準備が十分なされておらず、発生直後からの円滑な防疫措置が実施できなかったことから、今後の本装置を活用した円滑な貿易措置を実施できるよう、本装置の活用上の留意事項等について、都道府県担当者をはじめとする関係者に速やかに周知する必要がある。</p> <p>本事業は、上記課題の解決を通じて、豚熱よりも悪性度の高いアフリカ豚熱の侵入に対する防疫体制の緊急的な確立にも寄与することを目的としている。</p> <p>(1)アフリカ豚熱等緊急防疫体制の確立 ・アフリカ豚熱等の防疫体制のあり方の検討のための有識者や国、県職員等からなる委員会を開催 ・野生イノシシのアフリカ豚熱及び豚熱対策について、一般消費者を対象とするポスターの作成・配布</p> <p>(2)野生イノシシの検査情報提供体制の整備 ・野生イノシシのアフリカ豚熱及び豚熱の検査結果等についての地図情報(Web)を作成し、農林水産省HPに掲載 ・地図情報を活用するためのマニュアルやチラシを作成・配布</p> <p>(3)野生イノシシ対策の促進 ・野生イノシシ対策である捕獲の強化や経口ワクチン散布等を効率的に実施するため実証実験の実施 ・実証実験の成果による散布方法等の報告書の作成・配布 ・実証実験の成果を発表し、関係者への普及啓発を図るためのシンポジウムの開催</p> <p>(4)移動式レンダリング装置を活用した防疫体制の整備 ・移動式レンダリング装置の活用に向けた都道府県担当者向けの同装置の活用事例に係る映像の作成・配布 ・レンダリング業者、国、県職員等からなる委員会、都道府県等への普及のための説明会の開催</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		30,701			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (畜産副産物家庭消費促進)		事業実施主体名	一般社団法人 日本畜産副産物協会	
補助金等の名称	畜産副産物家庭消費促進費(家庭向けレシピの開発及び動画作成費、推進事務費)				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	可食内蔵の消費喚起による畜産農家の収益増加(回復)
		[NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] なし		実施方法	一般家庭における可食内蔵の消費拡大のためのレシピ動画の作成
				受益対象者	畜産農家等
	事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による緊急事態宣言等の発令による外出需要の落ち込みに伴い、主として外出向けに流通していた可食内蔵の流通量が減少し、可食内蔵の廃棄や卸売価格の下落が生じた結果、可食内蔵の取引によって得られるはずの畜産農家の収益が減少することとなった。</p> <p>本事業は、これまであまり一般家庭での直接消費がなされていない可食内蔵について、その消費を拡大することを目的に可食内蔵を食材として利用するための調理方法を分かりやすく伝える新規レシピの開発及び調理動画を作成、配信することで、広く一般消費者での可食内蔵消費の拡大を図り、内蔵の卸売価格を回復させて畜産農家の収益の増加を目指すためのものである。</p> <p>1.新規レシピの開発及び動画作成、既存レシピの動画作成 2.上記レシピ動画の配信(YouTube、SNS、レシピ専用アプリ等)</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		10,000			
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進 (牛乳乳製品普及対策)		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	生乳廃棄回避のための牛乳乳製品需要の喚起、拡大
		[NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領		実施方法	WEBキャンペーンによる乳製品の提供 競馬場来場者への飲用乳の提供
	事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、国内牛乳乳製品の需要が落ち込む中、小中学校の春休み期間に学校給食用の牛乳の供給がなくなる3月にかけて、生乳廃棄の可能性が懸念されたことから、国の要請を受け、本事業により2月下旬から3月末までの期間にWEBキャンペーンを実施し、当選者への乳製品プレゼントを通じて、生乳の消費拡大を進めるとともに、全国の地方競馬場来場者に対して飲用乳(LL牛乳)を配布し、消費拡大を図った。併せてキャンペーン特設サイトでは地方競馬の畜産振興への貢献についての理解醸成を図った。</p> <p>1.酪農応援キャンペーン特設サイトの設置 ・消費者に対して地方競馬が我が国の酪農・畜産振興に寄与していることをクイズ形式で分かりやすく伝えた。 ・クイズやアンケートに回答した消費者等合計10000名に抽選で北海道の生乳を使った乳製品と地方競馬による社会貢献等を紹介するパンフレット等を送付した。</p> <p>2.地方競馬場等における牛乳の配布 3月に生産された生乳を利用した牛乳・乳製品を全国の地方競馬場及び場外発売所の来場者に配布した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		82,292			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

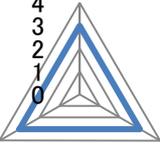
【令和3年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (全国和牛能力共進会開催支援)		事業実施主体名	第12回全国和牛能力共進会 鹿児島県実行委員会	
補助金等の名称	全国和牛能力共進会開催支援費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	全国和牛能力共進会を通じた国産畜産物の消費拡大、畜産振興への理解促進及び担い手確保・育成
		[NAR] (令和3年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 実行委員会規約		実施方法	新聞等による広報宣伝 研修・イベントの開催 ほか
	事業の内容	5年に一度開催される全国和牛能力共進会の第12回大会が、令和4年10月6日～10日に鹿児島県で開催された。 本事業は、翌年に控えた全国和牛能力共進会の認知度向上を図るとともに、共進会を通じて行われる、国産畜産物の消費拡大、畜産振興のための理解醸成及び担い手確保・育成に向けた活動を支援し、我が国の畜産の生産基盤の維持・発展を図るための事業である。 ・国産畜産物(和牛)の消費拡大 ・畜産振興のための理解醸成 1.メディア(新聞等)を活用した大会開催の周知及び和牛に関する知識普及・PR 2.イベント(開催1年前記念)における大会開催の周知及び和牛に関する知識普及・PR ・担い手の確保・育成 3.「和牛盛り上げ隊」による全共運営への参画を支援(農業大学校生・農業高校生の就農への動機付け)		受益対象者	和牛生産者等
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		10,000	45,000		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (1) 軽種馬の登録推進		事業実施主体名		公益財団法人 ジャパン・スタッドブック・インターナショナル		
補助金等の名称		登録推進費、馬名登録業務費、マイクロチップ埋込推進費、技術料						
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	登録及び事務の円滑化		
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱			実施方法	血統登録審査、馬名登録審査		
		[事業実施主体] 公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程他			受益対象者	軽種馬生産者、競走馬の馬主等		
	事業の内容		<p>国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼確保ならびに国際相互理解の促進に寄与する目的のため、軽種馬の血統と個体識別を明確にし繁殖成績を記録、軽種馬を競走馬登録する過程で必須となる馬名の決定をするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 軽種馬登録業務 …… 実馬審査をもとにした軽種馬の血統・繁殖登録及び証明書を発行し、海外の血統書統括機関との連携を図った。</p> <p>ii 馬名登録業務 …… 新規登録・馬名変更等について、規程に則り適正な審査を実施し、関係団体と馬名登録連絡会議を開催、相互連携の強化を図った。</p> <p>iii マイクロチップ埋込事業 …… 生産地でのマイクロチップ埋込事業に要する一部経費について補助を行った。</p>					
補助金額 (千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考			
		72,692	69,501	70,785	JRA:NAR=8:2			
視点別評価		<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク		ランクの定義			
			A		視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	合計点	9	B		視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
	判定(ランク)	B	C		視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
				D		視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (2) その他 優良2歳馬導入促進対策		事業実施主体名	北海道 他12地方競馬主催者	
補助金等の名称		付加賞金費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	競走馬の購買意欲を向上させ、生産地の活性化を推進する
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱			実施方法	地方競馬2歳競走への付加賞金交付
		[事業実施主体] 令和3年度(各事業主体名)優良2歳馬導入促進対策事業付加賞金交付規程			受益対象者	地方競馬馬主
	事業の内容	事業主体毎に、2歳馬の競走体系を勘案(新馬競走を優先)して競走数を定め、当該競走1着から5着(または3着)の競走馬の馬主に対し、付加賞金を交付する事業を実施した。				
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		222,550	278,994	322,696		
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
判定(ランク)	B		D	視点別評価の合計点が6点未満		

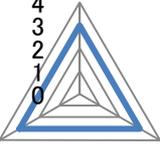
【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (2) その他 2歳競走活性化対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		2歳競走活性化対策費、推進事務費(技術料のみ)			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	2歳馬の所有意欲を向上させ、軽種馬生産の安定化を図る
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 2歳チャンピオンシリーズ褒賞金交付要領		実施方法	2歳チャンピオンシリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師への褒賞金交付
				受益対象者	地方競馬馬主等
	事業の内容	2歳チャンピオンシリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師に対し、褒賞金を交付した。			
	補助金額 (千円)		評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
			11,199	16,250	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 競走馬の改良増殖推進事業 (2) その他 牝馬競走活性化対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		牝馬競走活性化対策費、推進事務費(技術料のみ)			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 グランダム・ジャパン2021ボーナス交付要領		趣旨	牝馬の所有意欲を向上させ、軽種馬の流通を促進することにより、軽種馬生産の安定化を図る
				実施方法	世代別牝馬重賞シリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師へのボーナス賞金交付
				受益対象者	地方競馬馬主等
	事業の内容	世代別牝馬重賞シリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師に対し、ボーナス賞金を交付した。			
補助金額(千円)			評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
			10,310	10,343	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 競走馬の防疫衛生対策事業 (2)その他 競走馬防疫促進対策		事業実施主体名	公益社団法人中央畜産会
補助金等の名称		競走馬防疫促進対策事業費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人中央畜産会競走馬防疫促進対策事業補助実施要領		事業の目的	趣旨 競走馬に対する馬自衛防疫体制の強化 実施方法 競走馬防疫促進対策の検討会等の開催 馬伝染病予防接種費補助 受益対象者 地方競馬馬主等
	事業の内容	<p>H7年度に軽種馬の自衛防疫体制の確立を図るため「馬防疫促進緊急対策事業」として、旧社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会(以下「衛指協」という。)に基金が造成され、全国公営競馬馬主連合会(現日本地方競馬馬主振興協会(以下「日馬振」という。))が事業を実施していたところである。(当協会⇒衛指協⇒馬主会への間接補助)その後、衛指協が中央畜産会に合併(H21年度)されたため、中央畜産会に事業が継承されている。</p> <p>その後、平成31年度(令和元年度)に事業執行体制の内部見直しを行い基金を閉鎖し、令和2年度からは単年度補助方式として事業を実施している。</p> <p>令和3年度は、日馬振が実施する競走馬防疫促進対策の検討会等の開催に加え、日馬振の会員である各都道府県馬主会が行う伝染性疾病(馬インフルエンザ、日本脳炎、ゲタウイルス、破傷風、馬鼻肺炎)予防接種等に係る経費について間接補助している。</p> <p>また、「ばんえい競馬馬主協会」および「ばんえい競馬オーナーズクラブ」は日馬振の会員となっていないことから、「育成馬等の予防接種対策」として単独事業で実施した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		42,700	58,700	88,772	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>Ⅲ事業の効率性(費用対効果)</p> <p>Ⅱ事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>Ⅱ 事業の有効性</p> <p>Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

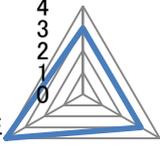
【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (1) 軽種馬経営高度化指導研修 (軽種馬経営技術指導者養成・ 技術普及)		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		研修費、巡回指導費、検討会開催費、データ収集提供費、技術普及費、生産地調査費、研修施設整備費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	技術指導者養成、技術普及により、 軽種馬生産・経営の安定化を図る
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施 要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営 高度化指導研修事業実施要領		実施方法	各種研修会開催、技術普及指導
	事業の内容	<p>軽種馬生産専門技術指導者の養成および生産者、担い手等を対象とした研修、検討会の実施、養成した技術指導者による巡回指導、生産育成技術等に関するデータの収集・分析・提供等により、軽種馬生産・経営の安定化を図るため、以下の事業を実施した。</p> <p>令和3年度実績 1. 技術指導者養成研修 2. 生産者研修 3. 担い手研修 4. 研修受講支援 5. 検討会開催 6. データの収集・分析・提供 7. 生産者等に対する技術普及指導 8. 生産地調査 9. 研修センターの整備及び維持</p>			
補助金額 (千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	91,058	98,433	126,000		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (2) 軽種馬経営高度化指導研修 (人材養成支援)	事業実施主体名	公益社団法人競走馬育成協会		
補助金等の名称		生産育成技術者海外派遣研修費、修学奨学金、生産育成牧場就業促進費、推進事務費				
事業の概要	根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体] 公益社団法人競走馬育成協会軽種馬経営高度化指導研修事業実施要領他</p>	事業の目的	趣旨	軽種馬生産育成技術者の養成 軽種馬生産育成牧場への就業支援	
				実施方法	海外研修、就学奨励金交付、就業促進(フェア、Web等)	
				受益対象者	軽種馬生産・育成者、担い手、就業希望者	
	事業の内容	<p>競走馬の生産育成牧場への就労を目指す若者、飼養管理及び生産育成技術の改善・向上を目指す牧場就労者等を対象として、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 海外派遣研修 …………… 海外の先進的生産・育成技術習得のため海外(アイルランド・アメリカ)へ研修生の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施を見合わせた。</p> <p>ii 修学奨学金交付 ……… 生産育成者養成施設(日本軽種馬協会静内種馬場、軽種馬育成調教センター)の研修者7名(対象:生活困窮者)に、返還義務のない給付型修学奨励金を交付した。その後、途中退所により1名から返還を受けた。 (修了後、2年間の育成牧場等での就労が交付条件)</p> <p>iii 就業促進支援 ……… 「BOKUJOB」として、フェアの開催、Webサイト運営、牧場見学・体験会などを行い、就業促進を図った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年実施していたフェアはWEB相談会に変更、牧場就業体験、研修は一部の地区で実施を見合わせた。</p>				
	補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
		67,413	64,171	90,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

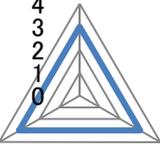
【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (3) 優良繁殖馬導入促進 (優良種牡馬整備)		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称	種牡馬導入費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する強い馬づくり
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	優良種牡馬の導入、事前調査
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進 (優良種牡馬整備)事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者
事業の内容	<p>優良な種牡馬を海外から購入し、公的な立場から軽種馬生産者の種付け料負担を軽減、国際的に通用する強い馬づくりを支援し、優良な競走馬を安定的に生産できる体制を確保するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 事前調査の実施 …… 優良種牡馬導入を円滑に実施するため、海外の主要な軽種馬生産地域(英、愛、米、豪)において種牡馬資源の状況を事前調査した。</p> <p>ii 優良種牡馬の導入 …… ミスチヴィアスアレックス号及びネロ号を導入した。</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	497,329	453,030	2,400,000		
視点別評価				【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (4) 優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬導入促進)	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会		
補助金等の名称		導入促進事業費、推進事務費、技術料				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	軽種馬生産の安定的維持・拡大 国際的に通用する馬づくり	
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	繁殖牝馬導入経費の一部補助	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進 (優良繁殖牝馬導入促進)事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者	
	事業の内容	軽種馬生産者が国内外の繁殖牝馬セールで優良繁殖牝馬を導入する際の購入経費の一部補助を実施した。補助率と実績は次のとおり。 ①担い手特認:補助率1/2 - 13頭 ②面積特認:1/2 - 10頭 ③未供用馬:1/3 - 6頭 ④その他:1/4- 42頭				
補助金額 (千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考		
	163,952	186,915	190,000			
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
判定(ランク)	B		D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (5) 優良繁殖馬導入促進 (繁殖牝馬流通活性化)		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		情報収集・提供費、広報活動費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	繁殖牝馬の市場上場促進
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	セリ市場開設に係る経費の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会優良繁殖馬導入促進(優良牝馬流通活性化)事業実施要領		受益対象者	繁殖牝馬セリ市場開設者
事業の内容		<p>現役引退した競走馬(牝馬)の市場上場を促進、繁殖牝馬の流通活性化を図るため、繁殖牝馬セリ市場の開設者に対し、上場馬や市場開催に係る各種情報提供、広報活動等について必要な経費の一部を補助した。</p> <p>i 繁殖牝馬市場開催 …… 年2回の繁殖牝馬市場(榊ジェイエス繁殖馬セール秋季・冬季)にあわせて、セリ名簿を作成し馬主等に送付。また、Webサイト、メディア(競馬雑誌、グリーンチャンネル)等で開催を広く周知した。</p> <p>ii 馬主への広報活動 …… ポスター・リーフレット・広告用PRチラシ等を作成し、現役を引退する繁殖牝馬のセリ市場への上場意欲を促進する啓蒙活動を実施した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	10,171	10,504	14,000		
視点別評価				【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (6) 軽種馬生産基盤整備対策		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		軽種馬生産基盤整備対策事業費(新規造成・拡大、既存草地更新、機械リース)、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	放牧地の確保による軽種馬生産体質の強化
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	新規造成・草地更新等の取組みに係る経費の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬生産基盤整備対策事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者
	事業の内容	<p>軽種馬生産構造の改善を支援するため、軽種馬生産者が、草地の適切な維持・管理を推進することで生産性の向上を図ること、また昼夜放牧に適した一定の放牧地面積を確保し、良質な牧草を通じて生産馬の資質向上を図ることを目的として、次に掲げる事業に対する経費の一部を補助した。</p> <p>① 新規造成・拡大 …… 狭隘な放牧地の拡充、遊休農地活用、採草地から放牧地への転換等により、昼夜放牧等に対応できる一定以上の面積を有する放牧地の整備や、良質な牧草を確保するための採草地の新規造成等を実施した。</p> <p>② 既存草地更新 …… 一定の面積を有する放牧地の再整備と牧柵、付帯設備の整備や、一定の面積を有する採草地の再整備等を実施した。</p> <p>③ 担い手機械リース …… 軽種馬生産の担い手が、草地管理用の機械装置を補助付きリース(補助率1/3)他で導入する事業を実施した。</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	337,002	497,672	568,000		
視点別評価				【評価項目】	
				I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (7) 軽種馬海外流通促進	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		海外市場調査費、海外顧客誘致活動費、国内輸出環境整備費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	趣旨	国内生産馬の需要拡大	
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱	実施方法	海外市場調査、情報提供、海外顧客誘致、輸出環境整備	
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬海外流通促進事業実施要領	受益対象者	軽種馬生産者、国内外競馬関係者	
事業の内容	<p>海外向けに各種媒体を用いて情報を提供し日本産馬の秀逸性をアピールするとともに、海外の馬主・調教師の訪日購買を支援。また、検疫施設の維持・管理を通じて輸出環境の整備を行うなど、国内生産馬の販路拡大を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 海外市場及び取引調査 輸出に当たっての問題点(契約、保険、諸費用等)の整理と解決方法を検討した。</p> <p>ii 海外顧客誘致活動 Webでの海外向け情報発信、海外プロモーション活動のほか、国内市場や生産地視察等に海外競馬関係者を招聘した。</p> <p>iii 軽種馬国内輸出環境の整備 海外購買者に対するの購買環境(日本産馬の輸出環境)を整えるため、胆振地区にある輸出検疫施設の改修を実施した。</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	69,035	65,629	90,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (8)競走馬のふるさと情報収集提供	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		情報収集提供費、生産地見学推進費、委託費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	競馬に対する理解増進及び地域振興
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	競走馬の生産地情報の提供(Web、生産地見学、現地案内所等)
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会競走馬のふるさと情報収集提供事業実施要領		受益対象者	一般市民(競馬ファン)等
事業の内容		<p>Webサイトによる情報の提供や北海道日高地区等に「競走馬のふるさと案内所」を6か所設置(日高、胆振、十勝、青森、千葉、鹿児島)し、生産地を訪れる競走馬・競馬ファン等に対して現地情報の提供や牧場見学案内等を行い、競馬の健全な発展や、生産者と一般市民をつなぐため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 情報収集提供 …… 競走馬の生産地情報を収集し、Webサイトの運用、JBBANEWS等を通じて情報提供した。</p> <p>ii 生産地の見学推進 …… 競走馬のふるさと案内所・連絡センターの運営(6か所)を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、馬産地見学ツアーは昨年度に引き続き中止となった。</p>			
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	53,246	38,825	44,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】	
				<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

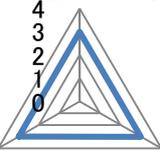
【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (9) 軽種馬経営強化改善資金 融通円滑化	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会			
補助金等の名称	軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業費					
事業の概要	根拠 【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業実施要領	事業の目的	趣旨	軽種馬経営強化改善資金の保証基盤の強化		
			実施方法	基金造成し、融資機関への債務保証に対する支援		
			受益対象者	長期低利資金を融通する融資機関(軽種馬生産者)		
事業の内容	<p>軽種馬生産者の事業継続のための借入金償還軽減を目的として、借入金の償還が困難となっている者の長期・低利の借り換え資金(軽種馬経営強化改善資金)を融通する事業について、平成17年度から5か年(21年度まで)で基金(基本基金)を造成し、実施している。</p> <p>本事業は、上記の軽種馬経営強化改善資金の融通の円滑化を図るため、農業信用基金協会が行う保証債務の弁済に充てるための基金(追加対策基金)を造成する事業に追加対策交付金を交付することにより、軽種馬生産地の構造改革を推進するための事業である。</p> <p>平成26年度に460,000千円を交付し基金を造成し、その後、平成30年度に80,000千円、令和3年度に70,000千円の追加造成(基金の積み増し)を行った。</p> <p>令和3年度までの保証債務代位弁済件数は5件(内、令和3年度0件)、基金交付金累計は280,006千円(内、令和3年度交付金0千円)、基金残高は330,055千円となっている。</p>					
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考		
	0	70,000	0			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)		
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義		
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
			D	視点別評価の合計点が6点未満		

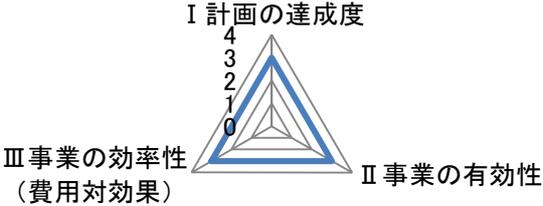
【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (10) 軽種馬流通活性化	事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会	
補助金等の名称		預託補助費、獣医学的馬体検査補助費、推進事務費、技術料			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	セリ市場の活性化及び軽種馬の流通促進
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	セリ上場に係る費用の一部補助
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬流通活性化事業実施要領		受益対象者	軽種馬生産者
事業の内容	<p>市場取引の活性化と軽種馬流通を促進するため、セリ市場上場に係る費用(専門業者(コンサイナー)による育成調教や獣医学的馬体検査(レポジトリー))の一部補助を次のとおり実施した。</p> <p>i 馴致及び育成調教補助・・・セリ上場に関する専門的知識技術を有する者への上場馬預託に係る費用補助(補助率1/2)</p> <p>ii 馬体検査情報開示補助・・・セリ市場上場前の獣医学的馬体検査(四肢、両膝レントゲン・上部気道内視鏡検査)に係る費用補助(補助率1/2) ※馬体検査結果の情報開示が補助の条件</p>				
補助金額(千円)	前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考	
	162,445	172,818	190,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>Ⅲ事業の効率性(費用対効果)</p> <p>Ⅱ事業の有効性</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度	
				II 事業の有効性	
				III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和3年度 競走馬生産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅲ 経営基盤強化対策事業 (11) 軽種馬経営継承者借換 資金融通		事業実施主体名	公益社団法人日本軽種馬協会
補助金等の名称		軽種馬経営継承者借換資金融通事業費(基金造成費)			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		趣旨	軽種馬生産継承者の借入金償還軽減による軽種馬生産体質の強化
		[NAR] (令和3年度)競走馬生産振興事業補助実施要綱		実施方法	基金造成し、融資機関への利子補給、債務保証に対する支援
		[事業実施主体] 公益社団法人日本軽種馬協会軽種馬経営継承者借換資金融通事業実施要領		受益対象者	長期低利資金を融通する融資機関(軽種馬生産継承者)
事業の内容		<p>本事業は、軽種馬生産者継承者が事業の継続をするための借入金償還軽減を目的として、平成30年度に基金造成を開始した。借入金償還が困難となっている軽種馬生産者の長期・低利の借換え資金(軽種馬経営継承資金)を融通する融資機関に対して利子補給を行うとともに、軽種馬経営継承資金が代位弁済となった場合その一部につき農業信用基金協会に交付金を交付するものである。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R2実績)	評価年度(R3実績)	今年度(R4計画)	備考
		200,000	200,000	200,000	
視点別評価					【評価項目】 Ⅰ 計画の達成度 Ⅱ 事業の有効性 Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
			B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
判定(ランク)	B	D	視点別評価の合計点が6点未満		